

**全国区になっても  
拠点は名古屋のまま**

結成以来、名古屋の音楽界を疾走してきたnobodyknows+（ノーバディーノウズ）は、2000年代初頭にメジャー・デビュー。2004年に発表した『コロオドル』がヒットすると、同年末のNHK紅白歌合戦出場を果たした。全国で知名度を上げても、拠点を東京に移すことなく、全員が名古屋に留まって活動を続けた。「地元が好きっていうのはもちろんですが、とにかく当時、名古屋のヒップホップ界が楽しかった。東京にはない、名古屋独特の熱というか。同じイベントに出ているSEAMO（シーモ）やHOME MADE家族はもちろん、よりハードなヒップホップを支持している層からは、トコナメやイコール、MCCといったアーティストの人氣もすごかったですから。まるで街ぐるみで楽しんでるような。おもしろかったんです」と柔らかな口調で語るDJ MITSU。作曲も担当する、nobodyknows+のリーダーだ。



photo by アラクシ



photo by アラクシ  
毎年恒例のライブ。今回はニューアルバムリリース間もないこともあり、例年以上に盛り上がった

**フリマARを  
nobodyknows+の  
歌が聴ける!**

チーム「チアドラゴンズ」への楽曲提供やナゴヤドームでの演出用楽曲、さらにクラブDJとしての活動などに忙しい。一方、ノリさんはMCだけでなく、長久手市のTaskファームで働く農家と今池プロレスに所属するレスラーとしても多忙な日々を送る。「活動初期に比べると、皆の生活スタイルが相当変わりました」と、しみじみ話すMITSUさん。10年前に比べて、メンバーが集まって食事に出かける機会は減ったという。「メンバーの中では、僕が一番ノリのプロレスを見に行ってるんじゃない?」とノリさんに問いかけると、「そうですね、ありがたいです」とノリさんはうれしさをにじませ、「最近全然会場に来てくれないですけどね」と笑いを誘った。

も通っていました」。音楽に出合ったのは小学5年生。洋楽を聴き始めたのが、きっかけだった。中学生になると洋楽好きの友人と交流を深め、情報交換をし合う中でヒップホップを知る。

「中学卒業後は、豊田高専に進学。寮生活だったので15歳で千種区を離れました。その後大須や鶴舞に住んでいた時期を経て、結婚をきっかけに千種区に戻りました。改めて住んでみると、暮らしやすいエリアで育ったんだなって思います。坂は多いですけどね」と笑った。

**地元に着した曲づくり  
今も大好きな街とともに**

メンバー最年少のノリ・ダ・ファンキーシビレサスさんは、春岡学区の出身。野性味あふれる低音ボイスを生かしたMC、ラップが特徴だ。

「今もそうですが、今池でよく遊んでいました。でも、今池は大人になつてから真の楽しみ方がわかる街ですね」と、現在でも親しみ深い街について話してくれた。

メジャーで活躍するようになって、店の主人たちと気さくに付き合おう。「いつでも気軽に話せる間柄ですよ。頻繁に行くのは、焼き鳥の『きも善』。あと、貝料理専門店の『さかもと』もうまい。しつかりお酒を飲んだ後は、老舗フライハウスの『得三』に行くことが多いですね」と楽しみ方を教えてくれた。

現在、MITSUさんは、nobodyknows+の曲制作に加え、中ドラゴンズのオフィシャルパフォーマンスタイトル「自由度の高さを満喫しながら音楽と向き合っている」

2010年にメジャー・レーベルとの契約を終了させると、名古屋との関係はいつそう深まった。「メジャーで活動し始めてから、割と早い段階でレコード会社から離れることを考えていました。今は、自身のレベルということで高い自由度のなか、音楽以外にも自分たちのしたいことができるので、日々の楽しさも増しています。ちなみに僕、昨年は宅建の資格を取りました」とMITSUさんが本音を明かす。「チアドラゴンズのテーマ曲を歌うようになったり、始球式に何度も登場させてもらっているのも、メジャー契約終了後から。農家やプロレスラーを真剣に続けられるのも、いまの環境があるからです」とノリさんが続ける。nobodyknows+としては、昨年12月にニューアルバム「THE FIVE WAYS」をリリースした。実に約4年ぶりのフルアルバムだ。「千種区にびつたりのアルバムに仕上がっています」とノリさん。どういふことかと聞けば、「良質な物と雑多な物がうまく交わっている感じですよ」とMITSUさんが笑った。

3月は北海道や熊本でのライブに出演予定。東海エリアでのライブは未定だが、「読者の皆さん、2月25日に僕のプロレスの試合がありますので、ひとまずそちらに足を運んでください!初の防衛戦なんですよ」と、プロレスラーとしての呼びかけ取材を終えた。

**ボクらの街 コロオドル 千種区**

巻頭特集

DJ MITSU&ノリ・ダ・ファンキーシビレサス from nobodyknows+

名古屋出身のヒップホップアーティスト「nobodyknows+」。2004年、ヒット曲「コロオドル」でNHK紅白歌合戦に出場した。5人のメンバーのうち、リーダーのDJ MITSUさんとMCノリ・ダ・ファンキーシビレサスさんは、千種区在住だ。



DJ MITSU

nobodyknows+のリーダー。グループの楽曲のトラックや中ドラゴンズの公式球団歌、ナゴヤドーム演出用楽曲、チアドラゴンズのテーマソングなども制作。また、「愛知県音楽大使」(nobodyknows+)、名古屋市が若手音楽家を支援する「Nagoya POP UP ARTIST」のスペシャルサポーターも務める。DJ BlackTiger名義でもクラブ系のレコードを継続的にリリース中。近年は、地道に築き上げた行政との関係を生かし、「名古屋野外音楽堂」の開設活動にも尽力する



ノリ・ダ・ファンキーシビレサス

ワイルドな風貌に見合ったパワフルな歌声を武器にMCの一角を務める。アーティスト活動だけでなく、普段は農家として長久手市内の畑で野菜づくりにも没頭。さらに、プロレスラーとして今池プロレスに所属。メンバーの中では最年少。「農業もプロレスも気づいたら10年近くやっています」とノリさん。普段は朝から畑仕事で汗を流す健康的な生活を送っている

**information**

**今池プロレス商店街17**

**2/25** 日 開場12:00 試合開始12:30

**料金** 自由席前売り3,500円、指定席前売り5,000円 (当日はともに+500円)

**会場** 名古屋市千種文化小劇場ちくさ座

**主催** 今池商店街連合会

**問い合わせ** 052-332-6866 (スポルティバアリーナ) 052-733-3709 (TOKUZO)

2017年12月28日に開かれた「出張ネーバランド2017〜大忘年会スペシャル!!!〜」の様。SEAMO, machaco, MASH, チアドラゴンズ&ドアラなども出演